

令和4年度北海道余市養護学校しりべし学園分校学校評価の結果について

令和5年3月27日

北海道余市養護学校長 辻 山 しのぶ
(しりべし学園分校)

I 職員アンケート

I アンケートの集計結果

(1) アンケート調査の方法 質問紙法

(2) 評定尺度と評価点について 評定尺度は4点法+1（「分からない」）を用いる。

昨年度より、4点法+1という押さえとしている。Eへの記載は「+」でも「-」でもない評価とした。

【4点法+1】		+-の評価	【4点法+1】		+-の評価
A	達成している。	+	C	少し達成している。	-
B	概ね達成している。		D	達成できなかった。	
			E	分からない	+どちらでもない

前年度と比較するため、評価点を用いた。Aを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点として、その合計をE4と評定した数を引いた回答数で割った平均点を評価点とする。最高点は4点、最低点は1点、中央値は2.5点となる。

(3) アンケートの集計結果（職員数 24名、回答者数 24名、回答率 100%）

【令和3年度回答率】 95.7%

は令和4年度新規評価項目

項目	No.	評価項目	評定					評価点	増減	
			A	B	C	D	E			
学校経営	1	私は、学校教育目標の達成を図るための活動を展開している。	R4	2	19	3	0	0	2.96	-0.18
			R3	3	19				3.14	
	2	私は、重点教育目標の達成のため、適切な指導と必要な支援を行っている。	R4	3	14	7	0	0	2.83	-0.35
			R3	5	16	1			3.18	
	3	私は、重点教育目標達成のために、職員間の連携に努めている。	R4	7	9	8	0	0	2.96	-0.31
			R3	15	13				3.27	
	4	私は、児童生徒への指導は、一人一人の教育的ニーズに応じて行っている。	R4	5	14	3	0	2	2.83	-0.62
			R3	11	16	1			3.45	
5	私は、学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的、対話的で深い学びを意識した授業づくりを推進している。	R4	3	10	7	2	2	2.42	比較なし	
		R3								
6	私は、授業づくりにおいて、効果的にICTを活用している。	R4	5	5	9	3	2	2.33	比較なし	
		R3								
7	私は、授業評価や単元評価を適切に行うなど、指導と評価の一体化に努めている。	R4	3	6	12	0	3	2.25	比較なし	
		R3								
8	私は、卒業後の生活を見据え、キャリア教育全体計画を踏まえた指導に努めている。	R4	4	9	8	0	2	2.46	比較なし	
		R3								
教育活動等	9	学校は、家庭や地域社会と連携した教育課程を編成、実施し、課題に即した個別の指導計画による指導ができています。	R4	10	11	2	1	0	3.25	0.07
			R3	6	20	1	1		3.18	
	10	学校は、児童生徒の発達段階や課題に応じた学習内容を設定し、適切な学習集団を編成した学習活動を行っている。	R4	10	12	2	0	0	3.33	-0.03
			R3	12	14	2			3.36	
	11	学校は、個別の指導計画に基づく、目標と指導内容及び評価について、保護者や学園に理解されるよう努めている。	R4	9	13	1	1	0	3.25	-0.16
			R3	7	18	2	1		3.41	
	12	学校は、児童生徒の健康や安全に配慮した教育活動を行っている。	R4	14	10	0	0	0	3.58	0.13
			R3	11	15	2	1		3.45	
	13	学校は、家庭や地域、学園などと連携した生徒指導を行っている。	R4	12	7	5	0	0	3.29	-0.16
			R3	8	18	2			3.45	
	14	学校は、いじめ問題と体罰の防止に向け、常に意識を持って適切に対応している。	R4	14	8	2	0	0	3.50	-0.23
			R3	17	11				3.73	
	15	学校は、保護者や学園と連携しながら進路指導に努めている。	R4	10	10	4	0	0	3.25	-0.30
			R3	8	16	4			3.55	
	16	学校は、地域社会に貢献する教育活動の充実を努めている。	R4	8	12	1	3	0	3.04	比較なし
			R3							
	17	学校は、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の趣旨である「地域ともある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」目指した取組を充実させている。	R4	7	14	3	0	0	3.17	比較なし
R3										
関係機関との連携等	18	学校は、教職員や地域のニーズにあった研修を行っている。	R4	7	13	4	0	0	3.13	0.38
			R3	6	13	8	1		2.75	
	19	学校は、地域における特別支援教育のセンター的機能を果たしている。	R4	10	11	2	0	1	3.21	-0.17
			R3	5	20	3			3.38	
	20	学校は、教育活動等を家庭や学園、あるいは地域に情報発信している。	R4	9	7	6	2	0	2.96	-0.14
			R3	3	18	5	2		3.10	
	21	学校は、交流及び共同学習の充実と発展に努めている。	R4	6	13	5	0	0	3.04	-0.10
			R3	3	16	8	1		3.14	
	22	学校は、新型コロナウイルス感染防止対策を行うなど、日常的な感染症対策に努めている。	R4	8	12	4	0	0	3.17	比較なし
			R3							
23	学校は、保護者や関係機関との情報交換や連携を密に行いながら指導・支援に努めている。	R4	10	11	3	0	0	3.29	比較なし	
		R3								
24	私は、学校事故に対する危機管理意識を持ち、適切な報告と対応ができています。	R4	7	15	2	0	0	3.21	-0.29	
		R3	9	17	2			3.50		
25	私は、個人情報の管理を適切に行っている。	R4	12	9	2	1	0	3.33	-0.12	
		R3	13	11	1	3		3.45		

危機管理他	26	私は、防災・防犯にかかわる危機管理についての理解ができています。	R4	5	18	1	0	0	3.17	-0.19
			R3	8	18	2			3.36	
	27	私は、しりべし学園分校の教職員（教育公務員）としての自覚を持って働いている。	R4	13	10	1	0	0	3.50	-0.09
			R3	15	12	1			3.59	
	28	私は、新型コロナウイルス感染症の感染防止について対応を適切に行っている。	R4	6	17	1	0	0	3.21	-0.11
			R3	9	19				3.32	
	29	私は、働き方改革の目指す理念を共有しながら、具体的な目標や方策を持って働いている。	R4	4	15	2	3	0	2.83	0.19
			R3	2	13	4	3		2.64	
	30	私は、児童生徒の人権を尊重した関わりに努めている。	R4	12	11	1	0	0	3.46	比較なし
			R3							

【主な意見】

・今年度実施したICT研修に参加し、個人的に知識・技術が高まる結果となった。その反面、ICT機器の普及に伴い、活用や管理に関する新しい決まりが必要である。という意見がありました。

・授業で児童生徒にどのようにアプローチして、どんな変容があるのかなどの基本を見つめ直すことで、授業力や指導のスキルアップ、教師間の連携が自然と図られる必要があるという意見がありました。

・地域とのつながりで、町内の人材を活用した授業づくりを積極的に進めていくことができると考える。という意見がありました。

・施設との連携の在り方や教師間のつながり、児童生徒の進路という視点などの共通理解が図られる必要があります。小さな職場だからこそ、「組織力」が大事であると考えます。という意見がありました。

(4) 結果

- ・評価項目は、昨年度より9項目増えている。また、全体平均評価点は3.09となり、昨年度の全体平均評価点の3.31を0.22ポイントを下回った。しかしながら、中間点2.5ポイントを上回っている項目が30項目中27項目であることから、今年度の教育活動について「概ね達成している」と考えられる一方、下回った項目が3項目あったことから、次年度の学校課題として捉えることができる。

評価項目5「私は、学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的、対話的で深い学びを意識した授業づくりを推進している。」（平均評価点2.39）

評価項目6「私は、授業づくりにおいて、効果的にICTを活用している。」（平均評価点2.26）

評価項目7「私は、授業評価や単元評価を適切に行うなど、指導と評価の一体化に努めている。」（平均評価点2.26）

- ・9つの新規評価項目のうち、全体平均評価点（3.09）を下回った項目は、9項目中5項目であった。

評価項目5「私は、学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的、対話的で深い学びを意識した授業づくりを推進している。」（平均評価点2.39）

評価項目6「私は、授業づくりにおいて、効果的にICTを活用している。」（平均評価点2.26）

評価項目7「私は、授業評価や単元評価を適切に行うなど、指導と評価の一体化に努めている。」（平均評価点2.26）

評価項目8「私は、卒業後の生活を見据え、キャリア教育全体計画を踏まえた指導に努めている。」（平均評価点2.57）

評価項目16「学校は、地域社会に貢献する教育活動の充実に努めている。」（平均評価点3.04）

- ・評価項目ごとの平均評価点のうち、昨年の平均評価点を下回った項目は、21項目中17項目であった。そのうち、0.3ポイント以上、下回った項目は、3項目であった。

評価項目2「私は、重点教育目標の達成のため、適切な指導と必要な支援を行っている。」（平均評価点-0.31）

評価項目3「私は、重点教育目標達成のために、職員間の連携に努めている。」（平均評価点-0.31）

評価項目4「私は、児童生徒への指導は、一人一人の教育的ニーズに応じて行っている。」（平均評価点-0.62）

- ・評価項目ごとの平均評価点のうち、全体平均評価点を上回っている項目は、30項目中18項目であった。そのうち、0.3ポイント以上、上回っている項目は、4項目であった。

評価項目12「学校は、児童生徒の健康や安全に配慮した教育活動を行っている。」（平均評価点3.61）

評価項目14「学校は、いじめ問題と体罰の防止に向け、常に意識を持って適切に対応している。」（平均評価点3.52）

評価項目27「私は、しりべし学園分校の教職員（教育公務員）としての自覚を持って働いている。」（平均評価点3.52）

評価項目30「私は、児童生徒の人権を尊重した関わりに努めている。」（平均評価点3.48）

- ・評価項目ごとの平均評価点のうち、昨年度の平均評価点を上回った項目が4項目であった。

評価項目9「学校は、家庭や地域社会と連携した教育課程を編成、実施し、課題に即した個別の指導計画による指導ができています。」（平均評価点+0.08）

評価項目12「学校は、児童生徒の健康や安全に配慮した教育活動を行っている。」（平均評価点+0.16）

評価項目18「学校は、教職員や地域のニーズにあった研修を行っている。」（平均評価点+0.42）

評価項目29「私は、働き方改革の目指す理念を共有しながら、具体的な目標や方策を持って働いている。」（平均評価点+0.19）

II 外部アンケート（保護者・関係施設職員・学校運営協議会委員・教育関係者）

I アンケートの集計結果

(1) アンケート調査の方法

質問紙法

(2) 評定尺度と評価点について

評定尺度は4点法+1（「分からない」）を用いる。

昨年度より、4点法+1という押さえとしている。Eへの記載は「+」でも「-」でもない評価とした。

【4点法+1】		+-の評価	【4点法+1】		+-の評価
A	達成している。	+	C	少し達成している。	-
B	概ね達成している。		D	達成できなかった。	
			E	分からない	+-どちらでもない

前年度と比較するため、評価点を用いた。Aを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点として、その合計をE4と評定した数を引いた回答数で割った平均点を評価点とする。最高点は4点、最低点は1点、中央値は2.5点となる。

(3) アンケートの集計結果（学校運営協議会委員 4名、施設職員 11名、保護者 8名、教育機関 1名 回答率70.6%）

令和4年度新規評価項目

【令和3年度回答率】

保護者：91.7% 関係機関：71.4%

令和3年度は上段が保護者、下段が関係施設

項目	No.	評価項目	評定					評価点	増減 (参考値)	
			A	B	C	D	E			
A 教育 活動 等	1	学校は、学校だよりやホームページをとおして、本校の教育活動について情報発信をしている。	R4	11	8	4	0	1	3.30	-0.35
			R3	8	2			1	3.80	
	2	学校は、地域における特別支援教育のセンターの機能を発揮している。	R4	9	8	4	1	2	3.14	-0.36
			R3	6	3	1			3.50	
	3	学校は、地域社会、町内の学校や施設等と交流する機会を持っている。	R4	9	9	4	0	2	3.23	-0.21
			R3	2	1	2	1		3.44	
4	学校は、保護者や関係機関との情報交換や連携を密に行いながら指導・支援に努めている。	R4	13	6	3	0	2	3.45	-0.35	
		R3	9	2				3.80		
5	学校は、地域社会に貢献する教育活動の充実に努めている。	R4	8	11	3	0	2	3.23	-0.47	
		R3	7	3			1	3.70		
6	学校は、保護者や学園と連携しながら進路指導に努めている。	R4	16	4	0	2	2	3.55	比較なし	
		R3								
B 関係 機関 との 連携 等	7	学校は、家庭や地域社会と連携した教育課程を編成、実施し、課題に即した個別の指導計画による指導ができています。	R4	12	6	3	0	3	3.43	-0.37
			R3	8	2			1	3.80	
	8	学校は、個別の指導計画に基づく、目標と指導内容及び評価について、保護者や学園に分かりやすく理解されるよう伝えている。	R4	12	7	1	2	2	3.32	-0.50
			R3	9	2				3.82	
	9	学校は、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導をしている。	R4	14	5	3	1	1	3.39	-0.31
			R3	8	3				3.73	
10	学校は、職員の高い専門性に基ついた教育活動に積極的に取り組んでいる。	R4	13	6	1	1	3	3.48	-0.30	
		R3	7	2			1	3.78		
11	学校は、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の趣旨である「地域ともにある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」目指した取組を充実させている。	R4	6	9	4	1	4	3.00	比較なし	
		R3								
C 安心 ・ 安全 な 学校	12	学校は、家庭や地域、学園などと連携した生徒指導を行っている。	R4	12	6	1	1	4	3.45	比較なし
			R3							
	13	学校は、いじめ問題と体罰の防止に向け、常に意識を持って適切に対応している。	R4	12	7	2	0	3	3.48	比較なし
			R3							
	14	学校は、児童生徒の健康や安全に配慮した教育活動を行っている	R4	13	7	1	0	3	3.57	-0.16
			R3	8	3				3.73	
15	学校は、新型コロナウイルス感染症の感染防止について対応を適切に行っている。	R4	10	8	1	2	3	3.24	-0.40	
		R3	8	2	1			3.64		
				5	3		2	3.63		

【主な意見】

- ・今年度は、学習発表会を参観させていただきましたが、先生方n活躍と御指導のおかげで素晴らしい演出でした。先生方、ありがとうございます。というご意見がありました。
- ・地域や家庭、学園、養護施設等、それぞれ境遇が違う子どもたちに対し、日々、丁寧に対応していただいて、大変さもあるかと思いますが感謝しております。地域の子どもの支援についても、ご協力いただき心強いです。というご意見がありました。
- ・地元じゃないので、地域のことはよく分かりません。忙しいとは存じますが、学校通信や学級通信を月1回ペースで発行していただければ、もっと学校の様子などが分かってよいと思います。というご意見がありました。
- ・地域もまだまだ協力できることがあると思います。そのため、遠慮なく地域に対して、発信してください。町の中にある大切な学校の1つとして、町民がもっと意識をもつ必要があると思います。よいうご意見がありました。

(4) 結果

- ・ 昨年度、保護者と関係機関を分けて行っていた学部アンケートを、同じ様式で実施した。そのため、評価項目数は保護者及び施設職員に対しては、昨年度より5項目、関係機関に対しては9項目増えている。また、昨年度の平均評価点が2つに分かれている評価項目もあることから、平均評価点の比較に当たっては、参考値とした。なお、全体平均評価点は3.35となり、昨年度の保護者アンケート全体平均評価点は3.77、関係機関アンケート全体評価点は3.59であることから、昨年度より下回る結果となっている。
- ・ 前年の平均評価点と比べて、すべての評価項目で下回っている。その中でも、0.3ポイント以上下回っているものは、9項目であった。
 - 評価項目1「学校は、学校だよりやホームページをとおして、本校の教育活動について情報発信をしている。」(平均評価点-0.35)
 - 評価項目2「学校は、地域における特別支援教育のセンター的機能を発揮している。」(平均評価点-0.36)
 - 評価項目4「学校は、保護者や関係機関との情報交換や連携を密に行いながら指導・支援に努めている。」(平均評価点-0.35)
 - 評価項目5「学校は、地域社会に貢献する教育活動の充実に努めている。」(平均評価点-0.47)
 - 評価項目7「学校は、家庭や地域社会と連携した教育課程を編成、実施し、課題に即した個別の指導計画による指導ができています。」(平均評価点-0.37)
 - 評価項目8「学校は、個別の指導計画に基づく、目標と指導内容及び評価について、保護者や学園に分かりやすく理解されるよう伝えている。」(平均評価点-0.50)
 - 評価項目9「学校は、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導をしている。」(平均評価点-0.31)
 - 評価項目10「学校は、職員の高い専門性に基づいた教育活動に積極的に取り組んでいる。」(平均評価点-0.30)
 - 評価項目15「学校は、新型コロナウイルス感染症の感染防止について対応を適切に行っている。」(平均評価点-0.40)
- ・ 回答の中で、「分からない」と回答の方が3名以上いた項目が7つあった。
 - 評価項目7「学校は、家庭や地域社会と連携した教育課程を編成、実施し、課題に即した個別の指導計画による指導ができています。」(Eと回答した人数は3名)
 - 評価項目10「学校は、職員の高い専門性に基づいた教育活動に積極的に取り組んでいる。」(Eと回答した人数は3名)
 - 評価項目11「学校は、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の趣旨である「地域とともにある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」目指した取組を充実させている。」(Eと回答した人数は4名)
 - 評価項目12「学校は、家庭や地域、学園などと連携した生徒指導を行っている。」(Eと回答した人数は4名)
 - 評価項目13「学校は、いじめ問題と体罰の防止に向け、常に意識を持って適切に対応している。」(Eと回答した人数は3名)
 - 評価項目14「学校は、児童生徒の健康や安全に配慮した教育活動を行っている。」(Eと回答した人数は3名)
 - 評価項目15「学校は、新型コロナウイルス感染症の感染防止について対応を適切に行っている。」(Eと回答した人数は3名)
- ・ 平均評価点のうち、全体の平均評価点3.35を上回っているものは、8項目であった。
 - 評価項目4「学校は、保護者や関係機関との情報交換や連携を密に行いながら指導・支援に努めている。」(平均評価点3.45)
 - 評価項目6「学校は、保護者や学園と連携しながら進路指導に努めている。」(平均評価点3.55)
 - 評価項目7「学校は、家庭や地域社会と連携した教育課程を編成、実施し、課題に即した個別の指導計画による指導ができています。」(平均評価点3.43)
 - 評価項目9「学校は、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導をしている。」(平均評価点3.39)
 - 評価項目10「学校は、職員の高い専門性に基づいた教育活動に積極的に取り組んでいる。」(平均評価点3.48)
 - 評価項目12「学校は、家庭や地域、学園などと連携した生徒指導を行っている。」(平均評価点3.45)
 - 評価項目13「学校は、いじめ問題と体罰の防止に向け、常に意識を持って適切に対応している。」(平均評価点3.48)
 - 評価項目14「学校は、児童生徒の健康や安全に配慮した教育活動を行っている。」(平均評価点3.57)
- ・ 昨年度同様、平均評価点が3.0を下回った評価項目はなかった。